



埼玉住まい・まちづくり交流展 2008

2008年10月11日(土)ー12(日) 10:00~16:30

会場:埼玉県立歴史と民俗の博物館

※写真 会場での巨大バルーンを設置します。

10月11日(土) 子ども達のワークショップ

「災害が起きたら、避難生活をしなければならないとしたら」

ビニール袋や竹など、身近な材料を用い、
身体と頭を使って緊急避難用のシェルターを制作します。

- ・被災地で実際に使われている
バルーンシェルターを設置、体験できます。
- ・指導 今井 弘さん(独立行政法人建築研究所)
八代克彦ものづくり大学教授と学生有志
- ・協力: NPO法人ピースウィンズ・ジャパン
10:30~11:30 「わたしたちにできること
(世界の紛争、自然災害に対して)」
11:30~12:00 バルーンシェルターの設営
13:00~15:30 子ども達のワークショップ
- ・場所 講演: 博物館地階講堂
制作: 博物館敷地内ほか ※事前申し込みが必要です。
- ・15:00~17:00
身近な歴史的資産保全利活用を語る集まり(要予約)

10月12日(日) 二つの講演会

「山からの水一滴も活かしきる先人の知恵」ー埼玉の水物語ー

- ・講師 藤原梯子さん(NPO 法人水のフォルム)
- ・時間 10:00~11:30
- ・場所 博物館地階講堂
- ・定員 100名(申込順)(先着順) 資料代有。
- ・共催 歴史と民俗の博物館友の会と共催

「岩槻の歴史を活かすまちづくり活動提案」
ー城下町岩槻の隠れた歴史の息吹に触れる試みー

- ・講師 伊藤洋子芝浦工業大学教授(県文化財審議委員)
- ・時間 12:30~14:30
- ・場所 博物館地階講堂
- ・定員 100名(先着順)。参加費無料。

期間中展示

県内大学、NPO、専門家集団等の活動成果を会期中、展示します。参加団体等による解説も予定しています。

会場 博物館1階ロビー 他

展示参加団体

- ・大学: 日本工業大学、ものづくり大学、埼玉大学、聖学院大学、芝浦工業大学、等
- ・専門家団体: 埼玉建築設計監理協会(よみがえりの建築)、日本建築家協会 JIA
- ・NPO等: NPO埼玉すまいの会、高住ネット、本庄まちネット、木の家づくり座談会、木犀、NPO秩父まちづくり工房、NPO深谷にぎわい工房、ぎょうだ足袋蔵ネットワーク、都市づくりNPOさいたま、等
- ・埼玉県: 県土づくり企画室、木材利用推進室
- ・大学卒業設計の優秀賞(図面・模型)



写真上 “様々なシェルターの形”

主催 日本建築学会関東支部埼玉支所
後援 埼玉県・埼玉県立歴史と民俗の博物館

問い合わせ等 日本建築学会埼玉支所 tel 048-866-8257